

消防職員に聞くQ&A

- Q** 火事を見つけたらどうしたらいいですか。
- A** まずは自分自身の安全を確認してから、大きな声で「火事だ!」と叫ぶなどの方法で人を集めてください。集まってくれた人に役割分担(避難誘導担当と初期消火担当)をお願いしましょう。その後、すぐに119番通報をしてください。
- Q** 火事を通報する119番では、何を伝えればいいですか。
- A** 最初に必ず「火事です」と伝えてください。次に住所、目標となる建物、交差点、橋や公園の名前などできるだけ多く伝えてください。自宅の電話以外にスマートフォンなどの携帯端末からでも「119」で消防へ通報ができます。
- Q** 自宅の手指消毒用アルコールに「火気厳禁」と書いてありますが、これは危ないものですか。
- A** アルコールは、「火に近づけると引火しやすい」「アルコールから発生する可燃性蒸気は空気より重く、低いところにたまりやすい」という特徴があります。台所や喫煙場所など、火がある近くでは使用しない。直射日光など、高温になる場所に置かない。このことをしっかり守った上で使用してください。
- Q** 生活の中で特に注意すべきことはありますか。
- A** 最近は電子機器が普及して、モバイルバッテリーなど充電機を所有する方が増えています。使用方法によっては、これらも火事の原因になりますので、次のことに注意し、正しく使用してください。

- ・強い衝撃、圧力を加えない。高温になる環境に放置しない。
- ・膨らんだり変形したりしてしまったものは使用しない。
- ・充電コネクタを含め、水濡れや破損に注意する。



消防本部予防課
井上 理恵さん

消防本部での取り組み

消防本部では、火災予防のため次の取り組みを行っています。

- 火災予防の啓発広報**
秋の火災予防運動期間(11月9日～15日)に合わせ、11月9日にベルク行田長野店と行田南店で啓発広報を行いました。来店者に住宅用火災警報器の設置促進などの内容が書かれたリーフレットを配布し、防火意識の向上を呼び掛けました。
- 住宅用火災警報器設置・点検促進ポスターの作品募集と掲示**
本市の火災警報器の設置率が全国と比較して低い状況にあることから、市内の小学4年生に「住宅用火災警報器」を題材にしたポスターを募集しました。総計554人の応募があり、金賞に選ばれた2作品は秋・春季火災予防運動のポスターとして採用し、期間中、市内の公共施設や事業所に掲示していただきました。
- 消防車による市内巡回の防火広報**
毎週火曜日をはじめ、強風など火災が発生しやすい気象時や火災予防週間中、歳末特別警戒中などに消防車による市内巡回の防火広報を行っています。
- 出前講座**
小学生向けの防火教室や大人向けの出前講座を行い、正しい消火器の使い方、火事を未然に防ぐ対策や豆知識をお伝えしています。



火災予防の啓発広報を行う消防職員の様子

私たちができる火災予防 ~いのちを守る10のポイント~

4つの習慣

<p>たばこ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・寝たばこは絶対にしない、させない ・灰皿に火の付いたたばこを放置しない 	<p>ストーブ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・周りに燃えやすいものを置かない ・古い(昨シーズン以前)灯油は使わない 	<p>こんろ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・使う時は、火のそばを離れない ・定期的に清掃する 	<p>コンセント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・埃を清掃し、不必要なプラグは抜く ・家具の下敷きになっていないか確認する
---	--	--	--

6つの対策

<p>出火防止</p> <ul style="list-style-type: none"> ・火災の発生を防ぐため、ストーブやこんろなどは安全装置の付いた機器を使用する 	<p>早期覚知</p> <ul style="list-style-type: none"> ・火災の早期発見のために、住宅用火災警報器を定期的に点検し、10年を目安に交換する 	<p>延焼拡大防止</p> <ul style="list-style-type: none"> ・火災の拡大を防ぐために、部屋を整理整頓し、寝具、衣類およびカーテンは、防災品を使用する
<p>初期消火</p> <ul style="list-style-type: none"> ・火災が小さいうちに消すために、消火器などを設置し、使用方法を確認しておく 	<p>早期避難</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お年寄りや体の不自由な人は、避難経路と避難方法を常に確保し、備えておく 	<p>地域の助け合い</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防火防災訓練への参加、個別訪問などにより、地域ぐるみの防火対策を行う

いざというときに! 消火器の使い方

①安全ピンに指を掛け、上に引き抜く

②ホースを外して火元に向ける

③レバーを強く握って噴射する

◎**点検ポイント**

- ・安全ピンの外し方はメーカーにかかわらず共通であるため、外し方を確認しておきましょう。
- ・火災の種類によってラベルが異なります。どの火災に適した消火器か確認しておきましょう。
- ・高温多湿を避けて設置し、さびついたり変形したりしているものは専門業者に点検を依頼しましょう。一度安全ピンを抜いた消火器も(噴射してなくても)同様です。

消火器の使い方は動画でもご覧いただけます。

消防車のペーパークラフトを作ろう!

表紙に使われている本市のロゴが入った消防車(化学車)・救急車のペーパークラフトは、市ホームページに画像データを掲載しています。ぜひ厚紙などにプリントアウトし、作成してみましょう。

<https://www.city.gyoda.lg.jp/30/03/10/pepakurafuto.html>

【用意するもの】

はさみ、カッター、定規、千枚通し(つまようじ)、のり(両面テープ)など

【注意事項】

ペーパークラフト作成には、はさみやカッターを使用します。安全に使用し、楽しく作成しましょう。



ペーパークラフト展開図

▶問い合わせ 消防本部予防課 ☎550-2121